

令和2年度（2020年度）

ま・ナビ やつしろ



八代が
ワンチームとして

「学ぶ意味」を
問いながら、
「能動的に
学び続ける力」を
子供たちに



八代管内学力充実推進会議

熊本県八代教育事務所・八代市教育委員会・氷川町（組合）教育委員会

「学び」の先の「生きる力」を育むために

熊本県八代教育事務所
八代市教育委員会
氷川町(組合)教育委員会

Q:どのような資質・能力が必要なのか？

生きて働く
「知識・技能」
の習得

未知の状況にも対応できる
「思考力・判断力・表現力等」
の育成

学びを人生や社会に生かそうとする
「学びに向かう力・人間性等」
の涵養

Q:どのような「学び」が必要なのか？

「主体的な学び」 粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

「対話的な学び」 多様な考えに触れることで自己の考えを広げ深める

「深い学び」 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら理解を深める

Q:「熊本の学び」が目指しているのは？

熊本の子供たちが「学ぶ意味」を問いながら、「能動的に学び続ける力」を身に付けること

Q:八代管内の取組の重点は？

「子供の学び」に視点を転換した授業づくりの推進

「子供の学び」に視点を転換した授業づくり



Q:何をすべきか?・・・視点を持って子供の姿を「みる(見・観・診)」  

子供の学びを「みとり(評価)」→教師の「手立て(指導)」に生かす 『指導と評価の一体化』

Q:何を「みる(見・観・診)」のか? (★必須項目 ☆努力項目)

導入	意欲	★ <u>子供は興味・関心・意欲を高めているか？【みる】</u> 「なぜ」「おそらく」(疑問や予想等)が生まれている	 表情の観察 つぶやきを拾う
展開	めあて 必然性	★ <u>子供は「めあて」を設定・把握しているか？【みる】</u> ☆ <u>子供は必然性を感じながら、自分の考えを広げたり深めたりしているか？【みる】</u> 「やってみよう」「なるほど」「きっと」(挑戦や納得等)が生まれている	活動のとりかかり 個人・協働学習の様子
終末	まとめ 実感	★ <u>子供は学んだことを整理し、理解しているか？【みる】</u> ☆ <u>子供は自らの学びや成長を実感し、次に生かそうとしているか？【みる】</u> 「分かった」「できた」「もっとやってみよう」(実感や達成感、更なる意欲等)が生まれている	記述内容 発言・発表内容 感想・振り返り
単元デザイン		☆ <u>単元全体で学習を構想し、「目指すゴールの姿」に子供が近づいているか？【みる】</u> 「わくわく」(興味・関心)が連続、「学びを生かそう」としている	次の学習や他教科等への意欲
ICTの活用		☆ <u>ICTは子供にとって「効果的な場面」で、「効果的な使い方」になっているか？【みる】</u> 「主体的・対話的で深い学び」へとつながっている	意欲喚起、理解を助ける、対話を補う

熊本の学び推進プランP91～100参照

Q: 目指す子供の姿は？

家庭学習習慣を
身に付けている計画を立てて
勉強している「能動的に学び
続ける力」を身
に付けている

Q: 家庭学習の内容とメリットは？

目指す子供の姿		家庭学習	内容	メリット(例)
家庭学習習慣	計画を立てて勉強 学び続ける	宿題 教師が 与えるもの	・宿題	・授業で教えたことを定着させることができる ・教師の意図で家庭学習内容を指示できる ・授業と家庭学習をリンクできる
		自主学習 子供が自分 で考えて行う もの	・復習	・自分の理解度を認知し、理解できていないところを効果的に学習することができる
			・予習	・次の授業の見通しがもてる ・次の授業内容の疑問点・理解できない点等を認知し、課題意識をもって授業に臨める
			・探究的な学び	・自分の興味のあること、学校で学んだことを更に深く学ぶことができる

Q:「能動的に学び続ける力」を育むための家庭学習の手順は？

① 家庭学習の学年の系統を示す ↓(例)

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
宿題									
自主学習									

② 家庭学習の週のスケジュール・内容を示す ↓(例)

曜日	月～金	土	日
宿題	・当日の宿題	・週末の宿題	
自主学習 復習	・当日の授業の復習	・1週間の授業の復習	
自主学習 予習	・明日の授業の予習 (金曜日は除く)		・明日の授業の予習
自主学習 探究			・探究的な課題(興味があること、疑問に思ったこと等を調べたり、まとめたりする)

③ 自主学習のやり方を示す

熊本の学び推進プランP97参照

(例) 記入する項目

1、日付 2、学習内容 3、めあて 4、取り組んだ時間 5、振り返り

※自主学習に取り組む前に、子供が「めあて」を考え、記入する。

(例)「とめ」や「はね」に気をつけて書く。(国語)

(例)計算ミスをしないように、ていねいに式を書く。(算数)

④ 家庭学習の計画を立てる場をつくる

熊本の学び推進プランP99参照

(例) 帰りの会で明日の連絡を生活ノートに記入後、今日の家庭学習の計画を立てさせ、生活ノートに併せて記入し、家庭学習の見通しをもたせる。

(例) ○宿題…(国語)漢字プリント1枚

○復習…(理科)小テストのやり直し

○予習…(数学)教科書P〇〇 連立方程式(代入法)

⑤ 家庭学習を評価する ～子供のやる気を引きだそう～

熊本の学び推進プランP94参照

(例) チームで毎日継続して家庭学習をチェックし、「認め、ほめ、励ます」コメントを記入する。改善点は具体的にアドバイスを記入する。また、個に応じた家庭学習を出す。

⑥ 家庭学習の取組を保護者と共有する。

熊本の学び推進プランP95参照

(例) 保護者へ通信等で家庭学習の取組を伝え、協力してもらう。

⑦ 授業と家庭学習をつなげる

熊本の学び推進プランP97参照

(例) 教科の予習のやり方を示し、単元の中で予習を生かした授業を行う。また、子供が「もっと考えたい」と思う新たな課題を提示する。

⑧ チェックリストを活用して、家庭学習の取組を改善する

家庭学習..チェックリスト(例)...子供編

- ☐ いつ、何を、どれくらい取り組むか、自分で計画を立てている。
- ☐ 自分で計画したことに取り組んでいる。
- ☐ 学習したことができるようになったかチェックできている。
- ☐ その日の学習の復習ができている。
- ☐ これから学習する内容の予習ができている。
- ☐ もっと知りたいことや興味のあること、疑問に思ったことをテーマにした自主学習に取り組んでいる。

熊本の学び推進プランP96参照

家庭学習...チェックリスト(例)...学校編

- ☐ 家庭学習の内容・量について、学校の中で共通理解を図っている。
- ☐ 帰りの会等を活用して、いつ、何を、どれくらい取り組むか、児童生徒が見通しをもてる計画を立てさせている。
- ☐ 授業中に家庭学習につながる声かけをしている。
- ☐ 家庭学習の取組内容に対する具体的な励ましコメントを入れている。
- ☐ 子供同士で、お互いの家庭学習ノートを見合って学び合ったり、認め合ったりする機会を設けている。
- ☐ 家庭学習の取組について保護者に働きかけている。
- ☐ 自主学習を紹介している。

家庭学習...チェックリスト(例)...家庭編

【子供と一緒にチェック】

- ☐ 家庭学習について、ルールを決めている。
- ☐ 机の上は、学習用具だけで集中できる状態になっている。
- ☐ 正しい姿勢で家庭学習に取り組んでいる。
- ☐ 家庭学習を、決まった時刻に始めている。
- ☐ 家庭学習ノートをもとに子供とのやり取りができている。

【保護者がチェック】

- ☐ 子供の家庭学習ノートを見ている。
- ☐ 子供の家庭学習ノートで、よくなった点、工夫した点をほめている。
- ☐ 子供が家庭学習を継続することを、認め、ほめ、励ましている。

アンケート結果を集計して、
レーダーチャートで視覚的
に課題を把握し、改善策
を考える